

ごあいさつ

茨城県立水戸第一高等学校・附属中学校
校長 御厩 祐司

本日は、ご来館ありがとうございました。
江山閣は、生徒の合宿や研修などに用いられてきた施設です。

唐の文人・范沖俺が記した「岳陽機記」中の「遠山を銜（ふく）み長江に臨み」から、その名が付けられたそうです。当地においては「江」は那珂川、「山」は筑波山を意図しています。

江山閣が最初に建てられたのは、1912年（明治45年）5月。残念ながら、1945年（昭和20年）8月の水戸空襲で、校舎とともに全焼してしまいました。

再建されたのは、戦後しばらく経った1960年（昭和35年）2月。以来、40年にわたり合宿や集会などに活用されました。

その後の老朽化に伴い、創立120周年を期して建て替えられることになったのが2000年（平成12年）。同年3月から工事を開始して9月22日に竣工しました。

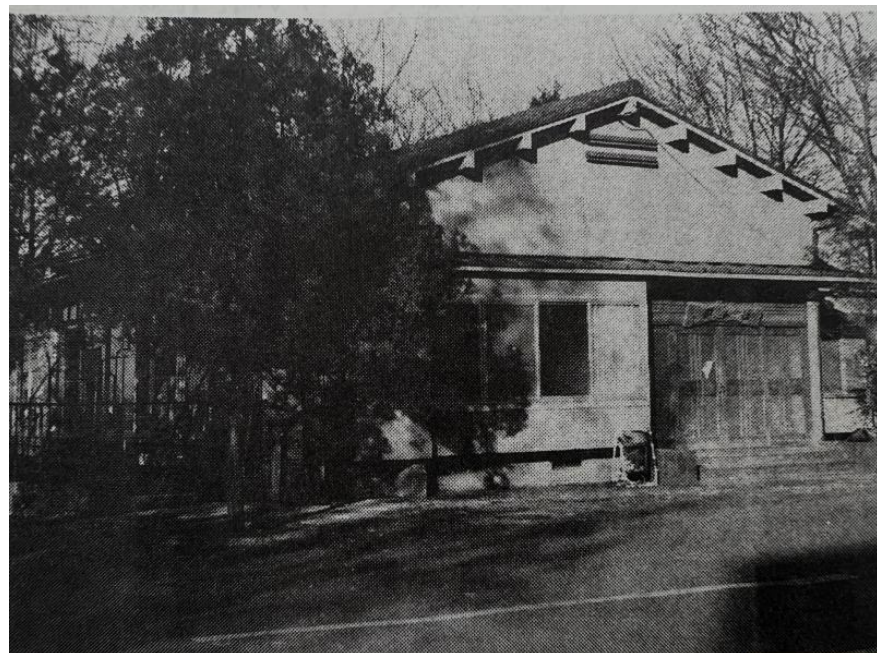
3代目江山閣の設計者は、水戸一高卒業生の妹島和世さん。妹島さんは、アジア人女性で初めて「建築界のノーベル賞」と評されるプリツカー賞を受賞された世界的建築家です。

このたび、江山閣の開館25周年を記念し、美術部と書道部が合同展覧会を開催することになりました。この建物をギャラリーのように用いることは、おそらく初めてではないかと思えます。

皆さまには、江山閣という素晴らしい建築作品とともに、生徒たちの作品や、周辺の水戸城跡の豊かな自然環境を堪能していただけますと幸いです。



初代江山閣（1912-1945）



2代目江山閣（1960-2000）



3代目江山閣（2000-）